(乙)　(甲)

(乙)の(1)に就て

主張を構成し得る條件一ヶ年の[illegible]に於て解決
出来るが海員組合側は「[illegible]雇傭期間[illegible]
一箇[illegible]に船長[illegible]を共に[illegible]
[illegible]協定[illegible]前年同[illegible]」に[illegible]
つあり「[illegible]が雇傭せしめ[illegible]「全数を[illegible]
[illegible]の内容を考慮[illegible]事情」
照し[illegible]確定[illegible]会社[illegible]ものが[illegible]
会社は二名を組合の[illegible]同様の意思を以て相談
をなしつゝあるも右の通り決定する事は絶対なし
[illegible]の主張[illegible]会社側の見解[illegible]
を支持するものなり

[illegible]

掲願争議ハ双互ノ譲歩且日本船主協會理事河内研太郎ノ斡旋ニ依リ急轉直下解決ノ曙光ヲ見タルコトハ前叙ノ通ナルカ其ノ後海員組合浜田理事ト黒川郵船神戸支店長トノ予備交渉ヲ了リ茲ニ一週間ニ亘ルトスル罷業ヲ圓満解決ヲ告クルニ至レリ其ノ状況左ニ

一、正式交渉ノ状況

本月十日午後三時ヨリ郵船會社神戸支店楼上會議室ニ於テ會社側ハ黒川支店長菱尾監督鈴木副監督日本海員組合側ヨリ楢崎組合長及浜田理事列席別ニ調停者又ハ立會人等ヲ設ケス只本件ニ関係アル中村海事部事務官河内研太郎神戸水上警察署長並ニ當廳特別高等警察課長等傍聴ノ下ニ且書面交換ノ形式ヲ取ラス口頭ヲ以テ黒川支店長